（別添資料１）

事業所名　Jupiter

支援プログラム（児童発達）

作成日　2026 年　4 月　1 日

法人（事業所）理念		発達、学習、生活に困り感を抱える子ども達、ご家族だけでなく医療的ケア児にとって【安心・安全・清潔】な居場所を提供します。		
支援方針		【あったらいいな】を実現。 個別：発達障害、知的障害、身体障害、医療的ケア児等、幅広いニーズを有する児童を対象に、一人ひとりの発達段階や特性、生活背景に応じた支援を行います。 集団：将来の社会参加を見据えた日常生活能力、社会性、学習面、身体機能面の総合的な成長を図ります。 連携：保護者や保育所・幼稚園、学校、他事業所等の関係機関と連携を図りながら切れ目のない支援、差のない支援を行います。		
営業時間		9 時　0 分から　18 時　0 分まで	送迎実施の有無	（あり）　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	基本的生活習慣（あいさつ・食事・排泄・更衣等）について、発達段階に応じてわかりやすく伝え、【安心】して取り組めるよう支援します。 また利用児の小さなサインを見逃さず、【自己・他者】の気持ちや体を大切にする気持ちが育つよう支援を行います。		
	運動・感覚	遊びや運動を通じて身体を動かす【楽しさ】や【できた経験】を味わいながら、基本動作の獲得を支援します。 一人ひとりの感覚特性に配慮した環境の中で、【五感】への【気づき】を促し、興味関心や集中して取り組む力を引き出せるように支援を行います。		
	認知・行動	自分の【気持ちへの気づき】を促せるよう、日常の関わりの中で見てわかる工夫を取り入れながら支援します。 簡単なルールや行動について【見通し】が持てるよう丁寧に伝え、【気持ちと行動のつながり】に触れながら、【安心】して自分で行動できるよう支援します。		
	言語コミュニケーション	言語やジェスチャー、絵カードなどを用いて、自分の思いや要求を【伝える力】が身につくよう支援します。 大人とのやりとりを通じて【安心して表現できる関係】を築き、【他者】の思いに触れる、受け止める経験を重ねながら、対人コミュニケーションの支援を行います。		
	人間関係社会性	小集団での活動や遊びを通じて、【他者への気づき】や身の回りの出来事への関心を広がるように支援します。 簡単なルールのある遊びややりとりの中で【関わり方の基礎】が身につくよう支援を行います。		
家族支援		保護者への定期的な面談に加え、不安や困りごとに【寄り添い】【受け止め】ながら、必要に応じて随時面談を行います。 また、発達状況や目標を家庭と共有し、ペアレントトレーニング等を通じて【一緒に考え】ながら家庭での関わり方を支援します。 関係機関と連携しながら、児童とご家族の生活全体を支える支援体制を整えます。	移行支援	保育所や幼稚園等から小学校への移行に際し、ご家族や関係機関と連携しながら、利用児とご家族に【寄り添い】、安心して新たな環境に慣れていけるよう支援します。 また、環境の変化に伴う思いや状況を【受け止め】、【一緒に考え】ながら関わりを重ね、移行後の生活にも安心して繋がっていけるよう、【ともに歩む支援者】として一人ひとりの歩みに合わせた【継続的な支援】を行います。
地域支援・地域連携		ご家族、相談支援専門員、学校、保育所、医療機関、行政等の関係機関と連携し、情報共有を図りながら、一貫性のある支援体制を構築します。 地域への認知活動を行います。社会的なインクルーシブを目指し、地域のイベントや活動への参加、施設利用を行います。	職員の質の向上	職員の専門性向上を目的とし、外部内部問わず研修への参加を実施します。定期的に他事業所とケース会議を行い支援について客観的視点での評価を取り入れます。 また、資格取得支援を通じて、質の高い支援の提供を目指します。 各職員が運営への積極的参加を行い、責任のある働きができるよう努めます。
主な行事等		季節行事（お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス等）を通じて四季を感じる機会を提供します。 また、個別療育や集団療育、SST、学習支援、製作活動、課外活動等を通じて、発達段階に応じた支援を行います。 さらに、食育活動や調理体験、衛生指導等により生活力の向上を図るとともに、発表会や職場体験等の社会体験の機会を設け、達成感や社会参加への意欲の向上に繋げます。		